

# 2021

Chukyo bank  
Disclosure Report

2021年3月期 ミニディスクロージャー誌

**第115期** 営業のご報告

2020.04.01 ▶ 2021.03.31



## ごあいさつ

日頃から中京銀行をお引き立ていただきまして誠にありがとうございます。  
ございます。

この度、2021年3月期ミニディスクロージャー誌を作成いたしました。ご一読いただき、当行に対するご理解を深めていただければ幸いです。

さて、昨年度の我が国経済は、年度の初めから新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に悪化し極めて厳しい状況となりました。外出自粛などの影響により個人消費や非製造業の動きに弱さは続くものの、年度後半には各種政策の効果や海外経済の回復により、輸出や生産を中心に持ち直しの動きとなりました。

このような情勢のもと、当行の主要な営業地域である愛知県では、各種政策の効果や海外経済の改善もあり持ち直していくことが期待されるものの、感染の動向が内外経済に与える影響や金融資本市場の変動等の影響など、経済を下振れさせるリスクがあることを認識しております。加えて、当行を取り巻く経営環境は中長期的には、人口減少による国内市場の縮小やコロナ禍で加速したデジタルイゼーションによる新たな競争の進展、お客さまのライフステージに応じた多様なニーズの高まりや、預貸利益や有価証券利息配当金の収益性低下など、急速な環境変化に対応しうるビジネスモデルへの抜本的な変革の必要性を認識しております。

こうした厳しい経営環境のもと、収益を確保し、経営体力のある今だからこそ、抜本的な変革を行い、経営の健全性を高めることが必要であると判断し、2021年4月から第18次中期経営計画<CXプラン>を開始いたしました。CXプランでは、地域社会の成長に貢献するため、お客さまのライフステージに応じた総合的なコンサルティングを、金融仲介機能とともに包括的かつタイムリーに提供する企業へ転換し、テーマである“金融機能を有する地域貢献型コンサルティング会社へ”を目指してまいります。

お客さまの多様なニーズにお応えし、経営ビジョンに掲げる「いちばんに相談したい銀行」を実現するため、役職員一同、一丸となって努力してまいりますので、引き続き皆さまのご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2021年6月

取締役頭取 **小林 秀夫**



## プロフィール

名称	株式会社 中京銀行
本店所在地	名古屋市中区栄三丁目33番13号
創業	1943年(昭和18年)2月10日
資本金	318億44百万円
預金	1兆9,027億円 ※譲渡性預金を含む
貸出金	1兆5,355億円
店舗数	87カ店(うちインターネット支店1)
従業員数	1,109名

(2021年3月31日現在)

## 経営ビジョン

### 私たちの使命

### 「地域社会の発展に貢献する」

1. 健全で透明性の高い経営を行い、地域の皆さまの声を真摯に受け止め、信頼される存在であり続けること。
  2. お客さま第一主義の精神で、質の高い金融サービスを提供し、お客さまの期待にお応えし続けること。
  3. 働きがいや活気に満ちた組織へ進化し続け、お客さまと地域社会の豊かな未来の創造に貢献し続けること。
- それが、私たちの使命です。

### 目指す姿

### 「いちばんに相談したい銀行」

1. 期待に応え続けるクオリティ  
様々なご要望やニーズに真摯に向き合い、高い専門性と魅力ある商品やサービスの提供、MUFGグループとの連携で、お客さまの期待にお応えし続ける。
2. 健全かつ透明で信頼される経営  
法令の遵守、環境への配慮、適切なリスク管理や企業情報の積極的な開示などを通じ、健全で透明性の高い経営を行う。
3. 地域に貢献し続ける存在  
役職員の能力が十分に発揮され、チームワークをいかした活力ある銀行への進化によりお客さまから選ばれ、地域社会に貢献し続ける。

# 第18次中期経営計画 CXプラン

急激な環境変化に対応しうるビジネスモデルへの抜本的な変革の必要性を認識し、経営体力のある「今」だからこそ、抜本的な変革を行い、経営の健全性を高めるべく第18次中期経営計画CXプランを策定いたしました。

"CXプラン"  
テーマ

金融機能を有する地域貢献型コンサルティング会社へ

期間 2021年4月1日～2024年3月31日

SUSTAINABLE GOALS  
DEVELOPMENT

地域課題の解決・持続的な成長支援によるSDGs\*の実現

\*SDGs(Sustainable Development Goals)：国連加盟国が採択した、2030年までに達成することを目指す17の持続可能な開発目標

## 事業変革 地区No.1のソリューション提案力の実現

- 1 質・量ともに地区No.1のソリューションメニューの実現
- 2 伴走型支援の取組み強化
- 3 デジタルを活用した営業の高度化

## 基盤変革 経営資源の凝縮

- 4 店舗再編による重点拠点へのリソースの凝縮
- 5 抜本的な物件費削減
- 6 デジタルを活用した生産性の向上
- 7 本部・営業店の業務効率化・体制の最適化

## 企業文化変革 新ビジネスモデルを支える人材の育成・配置

- 8 貢献度や能力・多様な働き方を重視する新人事制度導入
- 9 生産性向上にフォーカスした人材育成/トレーニング制度の充実
- 10 ソリューション専門人材の本部集中配置

基本戦略

財務KPI  
および目標

35億円以上(収益)  
コアコア業務純益<sup>\*1</sup>

3.6%以上(資本効率)  
ROE

76%以下(経費効率)  
コアOHR

施策別KPI  
および目標

5.0百万円/人  
パーヘッド  
コアコア業務純益<sup>\*1</sup>

20%  
役務収益比率

70%  
主要取引先への提案で  
実動した先の割合<sup>\*2</sup>

500人  
ソリューション・  
エキスパート人材数

主要KPI・目標  
(2023年度末)

※1 コアコア業務純益 = コア業務純益から投信解約益を除いたもの

※2 主要取引先へ多面的なソリューション提案を実施する中で、取引先の対応が得られた(実動)先の割合

## Q 第18次中期経営計画 CXプランはどのような計画ですか？

第18次中期経営計画CXプランはテーマを“金融機能を有する地域貢献型コンサルティング会社へ”としました。地域社会の成長に貢献するため、お客さまのライフステージに応じた総合的なコンサルティングを、金融仲介機能とともに包括的かつタイムリーに提供する企業へ転換することを目指します。

## Q 3つの基本戦略とはどのようなものですか？

「事業変革」では、テーマである地域貢献型コンサルティング会社となるため、地区No.1のソリューション提案力を実現し、お客さまの課題解決や持続的な成長をサポートすることで地域社会のSDGsも同時に実現してまいります。「基盤変革」では、経営資源を凝縮し、重要拠点や施策に経営資源を戦略的に再配分してまいります。その結果として、中計3年間で店舗を約30%、人員数を約25～30%削減することを見込んでおります。「企業文化変革」では、ソリューション提案を担う行員の人材育成を強化してまいります。また、2022年4月には新人事制度の導入を計画しております。

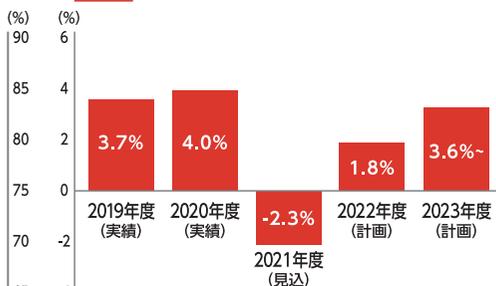
## ● 構造改革の効果

経営体力がある「今」だからこそ、2021年度を構造改革の年と位置付け、第18次中期経営計画による抜本的な収益構造の変革を行ってまいります。変革を今年度中にやり遂げ、ローコスト経営の早期実現を目指し、以下の通り目標の達成を図ります。

### コアコア業務純益・コアOHR



### ROE\*



※ROE=当期利益÷株主資本の期首・期末残高の平均

■ コアコア業務純益      — コアOHR

※ コアコア業務純益 = コア業務純益から投信解約益を除いたもの

※ コアOHR = 経費 ÷ コア業務粗利益

店舗統廃合に伴う減損損失や早期退職に伴う割増退職金、コロナ禍の不透明な信用コストの見直しに対し、将来予測モデルに基づく引当を2021年度の業績予想に組み込んでおります。いずれも、現在詳細を検討中ですが、店舗統廃合の実施については、お客さまへの影響や混乱を回避するため段階的に実施し、来年の3月末までに全て実施したいと考えております。これらの構造改革により収益性と効率性の向上を図ります。

なお、2022年度は構造改革費用などの要因がなくなるのに加え、ビジネスモデル転換によるトップライン増強により、中計2年目、3年目にはV字回復する計画としており、ROEを高めてまいります。

強固な収益・財務基盤を確保することで、中計のテーマである「金融機能を有する地域貢献型コンサルティング会社へ」を実現し、経営ビジョンに掲げる「いちばんに相談したい銀行」を目指してまいります。

# 第18次中期経営計画 CXプラン

## 地区No.1のソリューション提案力の実現

### Q なぜソリューション営業に力を入れるのですか？

当行が2021年1月に実施したアンケートや外部機関のアンケートでは、中小企業のお客さまには融資以外にも販路拡大や人材獲得など様々なニーズがあるとの結果が出ています。個人のお客さまについてはわかりやすい説明やニーズに合った提案を重視する結果が出ています。お客さまの課題解決に向けてニーズを把握し、幅広いソリューションを提案し、お客さまに貢献することで、「いちばんに相談したい銀行」として真の課題・ニーズにお応えできる企業への「変革」を目指します。

### ● 中小企業のニーズ 当行および中小企業庁・金融庁のアンケートより

		お客さまアンケート (当行)	小規模企業白書 (中小企業)	中小企業アンケート (金融庁)
経営支援	販路拡大・収益増強	販路拡大	☑ (40.0%)	☑ (62.6%)
		商品・サービスの開発／改善		☑ (33.5%)
		技術・研究開発		☑ (23.2%)
		不動産情報	☑ (7.2%)	
		M&A支援		☑ (15.0%)
	費用圧縮・効率化	補助金申請補助	☑ (20.0%)	
		効率化経営支援	☑ (20.0%)	☑ (34.0%)
	事業計画策定支援		☑ (29.0%)	
体制整備	人材確保・育成	☑ (4.6%)	☑ (72.5%)	
	後継者育成・決定		☑ (72.5%)	
	福利厚生	☑ (5.3%)	☑ (21.0%)	

(カッコ)内は、「悩みあり」と答えた中小企業の割合

### ● 個人のニーズ 第二地方銀行協会加盟行共同アンケートより

銀行や担当者を評価する際に重視するもの(上位5つ)			
信頼感	ご依頼への速やかな対応など	適切なアフターフォロー	運用実績・相場状況など
ニーズに合った提案	提案商品・運用方法など	専門知識の豊富さ	商品内容・市況など
わかりやすい説明	商品説明・リスクの説明など		

### Q 具体的にはソリューション営業にどのように取り組むのですか？

MUFGグループや外部専門業者と積極的に連携し、多種多様なソリューションメニューを揃えます。ラインナップは300社250超のメニューを予定しており、中計最終年度には年間1,000件のソリューション成約数を目指します。お客さまのライフステージに応じた幅広いソリューションをご提供し、お客さまのサステナブルな成長をご支援してまいります。

## 法人のお客さま

取引先企業の 経営全般・業績改善にも 踏み込んだ ソリューションのご提供	財務サポート	<ul style="list-style-type: none"><li>● 事業性評価による担保・保証によらない融資</li><li>● 小ロシ・ローン等のソリューションファイナンス</li><li>● リース提携先のご紹介</li></ul>
	業績改善サポート	<ul style="list-style-type: none"><li>● 収益増強のための販路拡大</li><li>● 経費削減のためのDXや効率化</li></ul>
	経営支援サポート	<ul style="list-style-type: none"><li>● 人材確保や育成、社内体制の整備</li><li>● 補助金申請</li><li>● 決算対策、法務・税務</li><li>● 事業承継、M&amp;A</li></ul>

### 中京Big Advanceの取扱開始

2020年12月から取扱いを開始したWeb上の経営支援プラットフォーム「中京Big Advance」は、株式会社ココペリが開発運営する「Big Advance」を基に全国の金融機関と連携しております。販路拡大や福利厚生 の充実、経営に役立つ情報の提供を通じて、お客さまの本業支援、事業価値向上をご支援いたします。



## 個人のお客さま

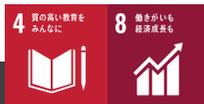
お客さまの高度なニーズに対応するソリューション提案	資産管理、資産事業承継	<ul style="list-style-type: none"><li>● 本部専門チーム（ウェルスマネジメントチーム）による高度なご提案</li><li>● 投資信託、保険、仕組債、信託、不動産活用等</li></ul>
パーソナライズ・ライフステージに合ったソリューションの提供	老後資金確保	<ul style="list-style-type: none"><li>● 年金定期・保険・投資信託・相続</li><li>● <b>リバースモーゲージローン</b></li></ul>
	長期資産形成、デジタル活用	<ul style="list-style-type: none"><li>● お取引先企業での職域でのご相談</li><li>● 住宅ローンのWeb申込受付</li></ul>
	デジタルネイティブ層のニーズ	<ul style="list-style-type: none"><li>● Web広告の活用</li><li>● アプリ経由での消費者ローン申込み</li></ul>

### リバースモーゲージローンの取扱開始

2021年3月に取扱いを開始したリバースモーゲージローン「マイデザイン」は、ご自宅を担保とし、あらかじめ設定した融資極度額の範囲内で、必要に応じ何度でもお借入れいただけます。お借入期間中は利息のお支払いのみで、ご自宅に住み続けながら、セカンドライフを充実させたいというシニア層のニーズに対応する商品となります。

# SDGsの取組み

地区No.1のソリューション提案力を実現し、お客さまの課題解決や持続的な成長をサポートすることで地域社会のSDGsも同時に実現してまいります。



## 中京SDGs私募債「みらいエール」

中京SDGs私募債「みらいエール」を発行されるお客さまから受け取る手数料の一部で、教育機関や地方公共団体等に学用品や備品を寄贈する取組みを行っております。

2020年4月～2021年3月までに寄贈式を開催された皆さま(寄贈式開催順)

2020年度取組実績  
27件、18億円

SDGsの取組みにご協力いただき、ありがとうございました。

株式会社トーカイ

明光電気株式会社

株式会社鈴木産業

司重機株式会社

株式会社エスペック

ニューシステム株式会社

株式会社高橋建築

株式会社浜木綿

オギスレッカー株式会社

株式会社ランド・二十一

棧生工業株式会社

株式会社中京メディカル

株式会社友楽不動産

有限会社南陽硝子

株式会社伊藤美藝社製版所

株式会社アオマツ

藤井鉄工株式会社

株式会社ビッグ・インテック

株式会社大塗

株式会社フミックス

※上記以外にも、多くの中京SDGs私募債「みらいエール」を発行いただき、寄贈にご協力いただいております。

## 投資信託新商品を活用したSDGsの取組み

2021年1月より、金融サービスを通じたSDGsの実現のため、地域活性化を事業目的とした団体等への寄附スキームを備えた投資信託「グローバルESGバランスファンド(愛称:ブルー・アース)」(委託会社:野村アセットマネジメント株式会社)の取扱いを開始いたしました。

本商品では、地域活性化を事業目的とする団体等に当行および野村アセットマネジメント株式会社が信託報酬の一部を寄附いたします。

### ● 当商品の販売を通じて実現できる代表的なSDGs項目



### ● 寄附を通じて実現できる代表的なSDGs項目



## 「中小企業向けSDGs」Webセミナーの開催

地域の皆さまのSDGsへの理解を深めていただき、SDGsの啓発および実践(SDGs経営)につなげていただくことを目的にあいおいニッセイ同和損害保険株式会社とWEBセミナーを共催いたしました。

セミナーでは、ビジネスにおけるSDGsのリスクとチャンスをも具体的な取組み事例の紹介も交えて分かりやすく説明していただきました。

なお、本件はあいおいニッセイ同和損害保険株式会社との地方創生に関する業務提携の一環として行ったものです。



## 「福祉応援定期(愛称:たすけ愛)」の取扱いによる車椅子の寄贈

2020年9月から11月の期間で募集した「福祉応援定期(愛称:たすけ愛)」のお預入れ総額の0.01%に相当する額の車椅子25台を愛知県および三重県の社会福祉協議会に寄贈いたしました。

「福祉応援定期」は2013年より取扱いを開始し、これまでに累計165台の車椅子を寄贈しています。



## 桑名支店と賃貸住宅併設の複合ビル建設による地域活性化への貢献

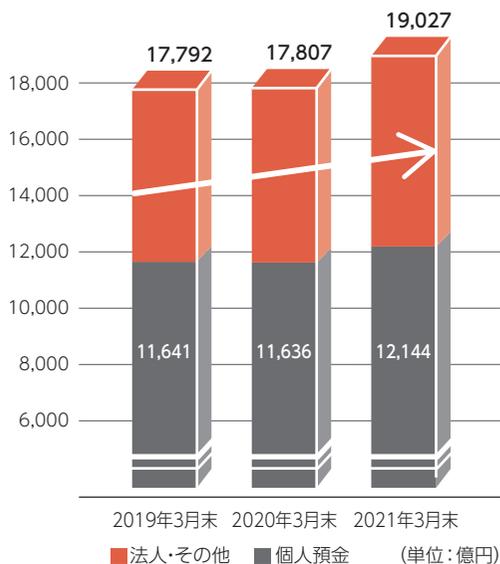
桑名支店の建替えにあたり、店舗と賃貸住宅を併設した複合ビルを建設いたします。1～2階が桑名支店新店舗、3～11階が賃貸住宅(1K54戸、1DK18戸の全72戸)となります。

所在地	三重県桑名市寿町二丁目27番地
構造	鉄筋コンクリート造11階建
敷地面積	689.94㎡
延べ床面積	3,974.88㎡
営業開始時期	2022年秋頃



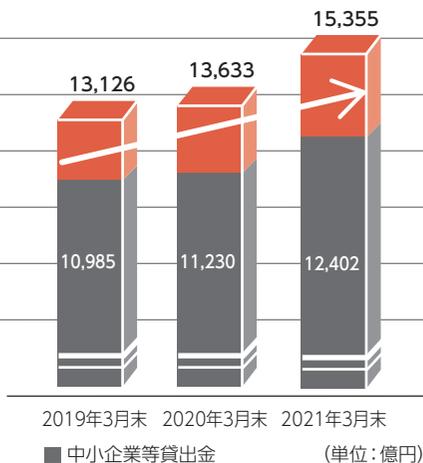
# 2020年度の業績

## 預金



預金は、法人預金を主体とした増加により、2021年3月末残高は前期比1,220億円増加の1兆9,027億円となりました。  
※譲渡性預金を含む

## 貸出金



貸出金は、中小企業等貸出の増加により、2021年3月末残高は前期比1,722億円増加し、1兆5,355億円となりました。

## 自己資本比率

# 8.33%

2021年3月末の自己資本比率は8.33%となり、国内業務のみを行う銀行に求められる水準である4%を大きく上回っています。

## 格付

# A- を取得

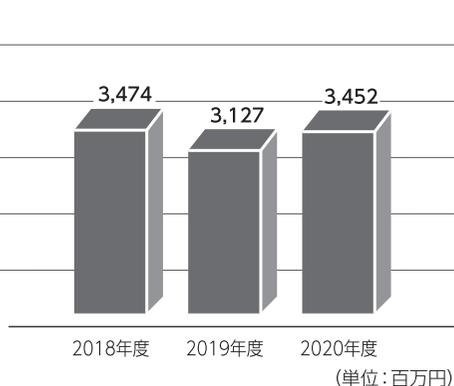
当行は、株式会社日本格付研究所より、長期発行体格付「A-」を取得しており、健全な経営体質が評価されています。

## 経常利益



経常利益は、貸出金利息や役務取引等利益の増加により、前期比8億82百万円増加の48億20百万円となりました。

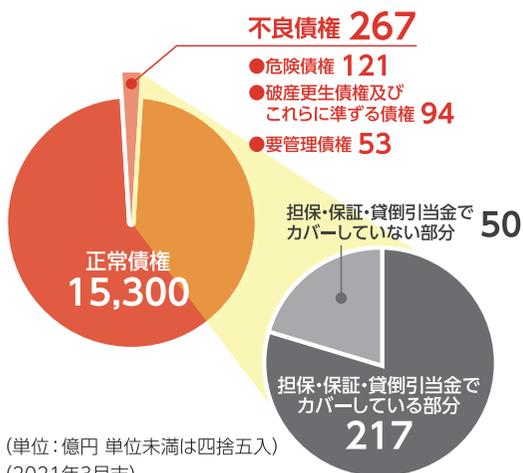
## 当期純利益



当期純利益は、前期比3億25百万円増加し、34億52百万円となりました。

## 不良債権

貸出金については、厳格な自己査定に基づいて適切な償却や引当を行い、資産内容の健全化に取り組んでいます。2021年3月末の金融再生法に基づく不良債権は267億円で、総与信に対する割合は1.72%です。これらのうち81.02%は担保や保証、貸倒引当金でカバーされています。

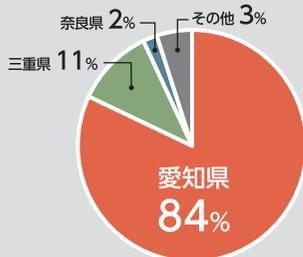


# 地域のお客さまとともに



当行では、様々な活動を通じて地域密着型金融の推進に取り組んでおります。  
愛知県、三重県、奈良県を主な営業基盤としており、これらの地域のお客さまからのご預金を中小企業や個人を中心としたお客さまへご融資することにより、地域経済の活性化に貢献してまいります。

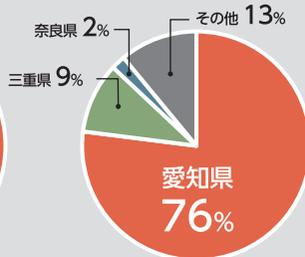
## 地域別預金分布



預金残高1兆9,027億円のうち、愛知県、三重県、奈良県内での預金残高は1兆8,319億円であり、96%を占めております。

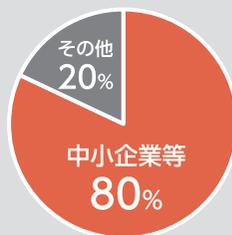
※譲渡性預金を含む

## 地域別貸出金分布



貸出金残高1兆5,355億円のうち、愛知県、三重県、奈良県内での貸出金残高は1兆3,331億円であり、87%を占めております。

## 中小企業等への貸出割合

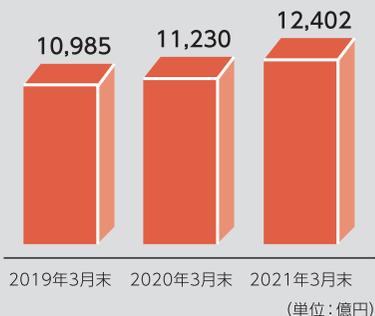


中小企業等への貸出金残高は1兆2,402億円で、貸出金残高のうち80%を占めております。

2021年3月末現在

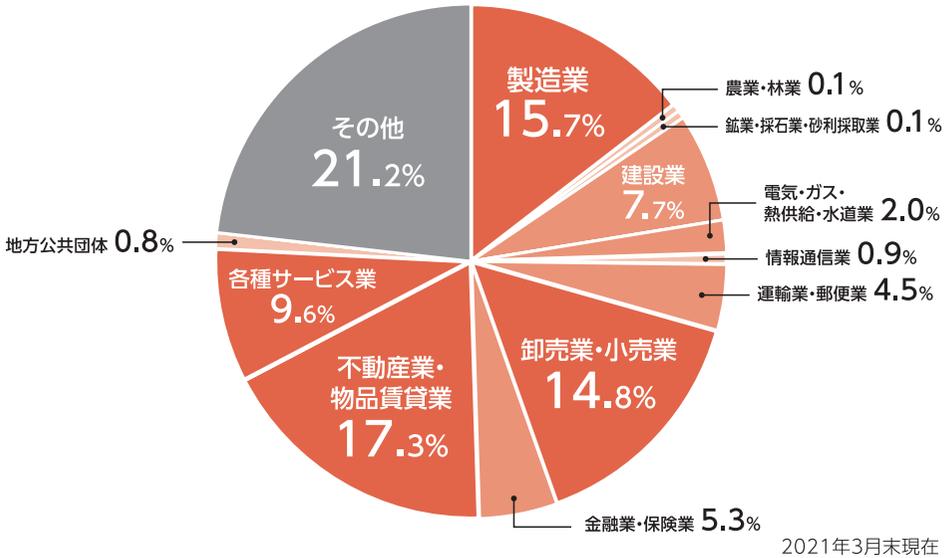
## 中小企業等への貸出残高推移

中小企業等への貸出金残高は、お取引先の資金ニーズにお応えするよう努めた結果、前期比1,172億円増加しました。



## 業種別貸出金の状況

特定業種に偏ることなく、地域の幅広い業種のお客さまのお役に立てるよう心がけております。

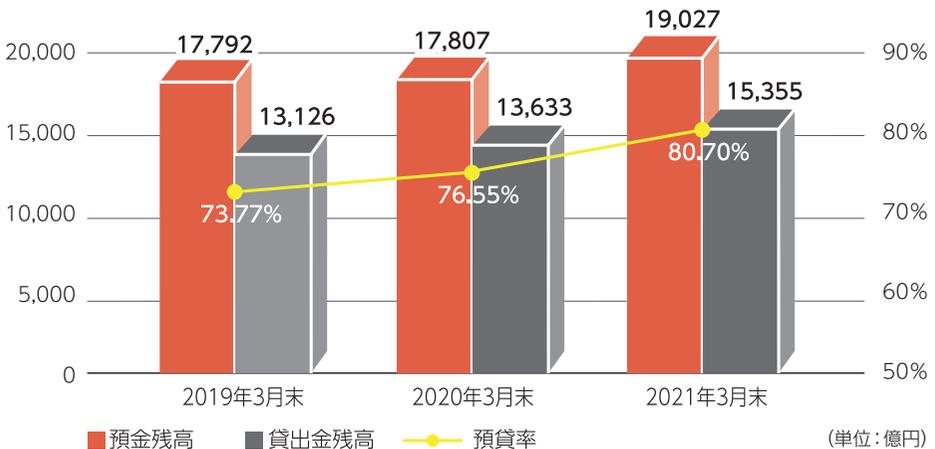


## 預貸率の推移

預金は、法人預金を主体とした増加により、2021年3月末残高は前期比1,220億円増加の1兆9,027億円となりました。貸出金は、中小企業等貸出の増加により、2021年3月末残高は前期比1,722億円増加し、1兆5,355億円となりました。

その結果、預貸率（貸出金の預金に対する割合）は80.70%となりました。

※預金は、譲渡性預金を含む。



# 単体財務諸表

## 貸借対照表の要旨 第115期(2021年3月31日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	前年同期金額	科目	金額	前年同期金額
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
現金預け金	92,024	73,836	預渡性預金	1,897,423	1,775,409
有価証券	431,557	493,296	債券貸借取引受入担保金	5,310	5,310
貸出金	1,535,569	1,363,390	信用金	—	30,411
外国為替	15,931	10,589	外国為替	56,300	37,000
その他資産	11,307	12,411	社債	22	99
有形固定資産	18,522	18,913	その他負債	5,000	5,000
有無形固定資産	1,719	1,895	賞与引当金	20,921	14,685
前払年金費用	2,415	1,732	睡眠預金払戻損失引当金	606	606
繰延税金資産	—	39	偶発損失引当金	149	389
支払承諾見返金	2,805	3,450	繰延税金負債	492	509
貸倒引当金	△8,567	△7,317	再評価に係る繰延税金負債	3,782	—
			支払承諾	2,537	2,547
			負債の部合計	2,805	3,450
			純資産の部	1,995,351	1,875,419
			資本金	31,844	31,844
			資本剰余金	23,184	23,184
			利益剰余金	33,535	31,021
			自己株式	△78	△169
			株主資本合計	88,486	85,881
			その他有価証券評価差額金	14,392	6,011
			繰延ヘッジ損益	△650	△725
			土地再評価差額金	5,407	5,357
			評価・換算差額等合計	19,148	10,643
			新株予約権	299	295
			純資産の部合計	107,934	96,820
資産の部合計	2,103,286	1,972,239	負債及び純資産の部合計	2,103,286	1,972,239

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 損益計算書の要旨 第115期(2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位:百万円)

科目	金額	前年同期金額	科目	金額	前年同期金額
経常収益	31,995	30,667	経常利益	4,820	3,938
資金運用収益	20,105	20,195	特別利益	241	4
貸出金利息	13,301	12,396	特別損失	206	59
有価証券利息配当金	6,699	7,645	税引前当期純利益	4,856	3,883
役員取引等収益	4,914	4,448	法人税、住民税及び事業税	1,196	774
その他業務収益	3,407	2,694	法人税等調整額	207	△19
その他経常収益	3,568	3,328	法人税等合計	1,404	755
経常費用	27,175	26,729	当期純利益	3,452	3,127
資金調達費用	995	1,342			
預金利息	229	236			
役員取引等費用	2,223	2,251			
その他業務費用	2,958	3,232			
営業経費	17,045	17,038			
その他経常費用	3,952	2,865			

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表の要旨 第115期(2021年3月31日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	前年同期金額	科目	金額	前年同期金額
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
現金預け	92,026	73,839	預渡性預金	1,891,435	1,769,790
有価証券	430,763	494,005	債券貸借取引受入担保金	5,310	5,310
貸出金	1,535,869	1,363,747	借入金	-	30,411
外国為替	15,931	10,589	外国為替	56,300	37,000
その他資産	15,288	16,762	社債	22	99
有形固定資産	18,419	18,804	その他負債	5,000	5,000
無形固定資産	1,814	1,918	賞与引当金	27,636	21,394
退職給付に係る資産	2,943	552	退職給付に係る負債	622	623
繰延税金資産	387	688	睡眠預金戻戻損失引当金	149	203
支払承諾見返金	2,813	3,460	偶発損失引当金	149	389
貸倒引当金	△9,255	△8,038	繰延税金負債	492	509
			再評価に係る繰延税金負債	3,842	118
			支払承諾	2,537	2,547
			負債の部合計	2,813	3,460
			純資産の部	1,996,311	1,876,857
			資本		
			資本金	31,844	31,844
			資本剰余金	23,994	23,994
			利益剰余金	35,211	33,817
			自己株式	△78	△169
			株主資本合計	90,973	89,487
			その他有価証券評価差額金	14,393	6,011
			繰延ヘッジ損益	△650	△725
			土地再評価差額金	5,407	5,357
			退職給付に係る調整累計額	269	△953
			その他の包括利益累計額合計	19,419	9,690
			新株予約権	299	295
			純資産の部合計	110,691	99,472
資産の部合計	2,107,003	1,976,330	負債及び純資産の部合計	2,107,003	1,976,330

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書及び連結包括利益計算書の要旨 第115期(2020年4月1日~2021年3月31日)

連結損益計算書

(単位:百万円) 連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科目	金額	前年同期金額	科目	金額	前年同期金額
経常収益	31,446	30,924	当期純利益	2,333	2,316
資金運用収益	18,876	19,648	その他の包括利益	9,679	△15,306
貸出金利息	13,344	12,455	その他有価証券評価差額金	8,381	△14,181
有価証券利息配当金	5,427	7,040	繰延ヘッジ損益	74	△401
役員取引等収益	5,399	5,007	退職給付に係る調整額	1,223	△705
その他業務収益	3,598	2,892	持分法適用会社に対する持分相当額	-	△18
その他経常収益	3,571	3,376	包括利益	12,013	△12,990
経常費用	27,814	27,435	親会社株主に係る包括利益	12,013	△12,990
資金調達費用	996	1,344			
預金利息	229	236			
役員取引等費用	2,022	2,034			
その他業務費用	2,958	3,232			
営業経費	17,690	17,870			
その他経常費用	4,145	2,953			
経常利益	3,632	3,489			
特別利益	307	4			
特別損失	206	65			
税金等調整前当期純利益	3,733	3,429			
法人税、住民税及び事業税	1,529	853			
法人税等調整額	△129	259			
法人税等合計	1,399	1,112			
当期純利益	2,333	2,316			
親会社株主に帰属する当期純利益	2,333	2,316			

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



# 役員 / 株式 / 店舗一覧

## ● 役員氏名

(2021年6月25日現在)

### 取締役・監査役

取締役会長(代表取締役)	徳岡 重信	取締役	柴田 雄己
取締役頭取(代表取締役)(執行役員兼務)	小林 秀夫	取締役	野口 裕幸
取締役専務執行役員(代表取締役)	小島 教彰	常勤監査役	前田 明宏
取締役常務執行役員	若尾 俊之	監査役	木村 和彦
取締役執行役員	川井 博史	監査役	栗本 幸子
取締役執行役員	平塚 順子		

### 執行役員

常務執行役員	早川 誠
執行役員	細田 圭治
執行役員	堀尾 恭司
執行役員	真能 一彰
執行役員	五味 久典

(注)取締役 柴田 雄己、野口 裕幸は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

(注)監査役 木村 和彦、栗本 幸子は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

## ● 株式・株主の状況

(2021年3月31日現在)

### 発行可能株式総数

普通株式 50,000千株

### 発行済株式の総数

普通株式 21,745千株

### 株主数

6,256名

(注)株式数は千株未満を切り捨てて表示しております。

## ● 株式のご案内(証券コード:8530)

(2021年3月31日現在)

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
上場証券取引所	東京証券取引所、名古屋証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.pronexus.co.jp/koukoku/8530/8530.html">http://www.pronexus.co.jp/koukoku/8530/8530.html</a> (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞および名古屋市において発行する中日新聞に掲載いたします。)

### ※ご注意

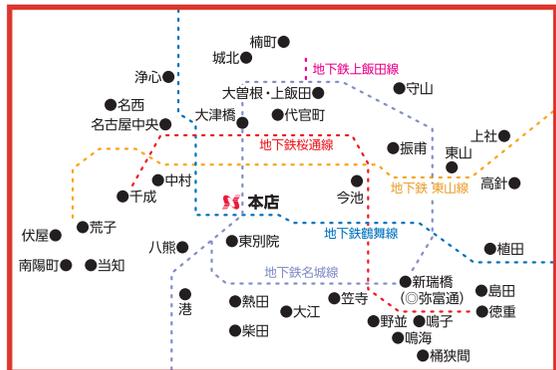
- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

●支店  
◎出張所

(2021年3月31日現在)



### 名古屋市店舗



※中村支店と千成支店は2021年4月26日付で移転し、同一建物内で営業しております。

# 中京銀行

〒460-8681  
名古屋市中区栄三丁目33番13号  
TEL 052(262)6111  
<http://www.chukyo-bank.co.jp/>



**UD FONT**  
by MORISAWA

発行:中京銀行 総合企画部